
2021年度 第2回
郵博 特別切手コレクション展

第8回ヨーロッパ切手展

展示作品解説パンフレット



日独交流160周年
Jahre Freundschaft
Deutschland – Japan

主催

郵政博物館、特定非営利活動法人郵趣振興協会

後援

ドイツ連邦共和国大使館
無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社

郵政博物館における展示期間

2021年9月23日(木・祝) 13:00-16:30
2021年9月24-26日(金土日) 10:30-16:30

クラウド展示期間

2021年9月23日(木)～10月24日(日)

展示団体挨拶

ヨーロッパ切手展は、2013年に始まった、欧州に関連するフィラテリーを展示する無競争公募切手展です。

毎年一つテーマを決めて開催しており、第8回となる本年は、ドイツ連邦共和国大使館にご後援いただくご縁があり、日独国交樹立160周年を記念して「ドイツ」をテーマに選びました。

なお首都圏以外にお住まいの方に展示をお楽しみいただけない事は、本展覧会の長年の課題でした。しかし、本年より郵博特別切手コレクション展の「クラウド展示」を導入でき、上記課題をようやく解決できました。本施策は、首都圏にお住まいでもCOVID-19流行によりご来場いただけない方にもお喜びいただけたと考えております。

どうぞ欧州切手の世界をお楽しみください。

第8回ヨーロッパ切手展実行委員会

木戸裕介

過去のヨーロッパ切手展のテーマ

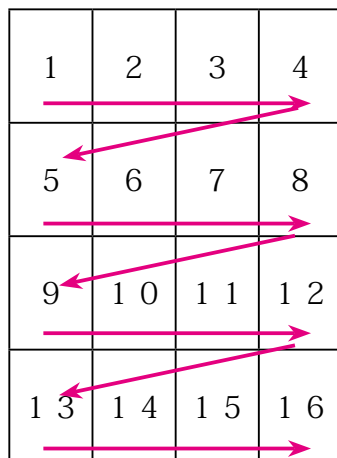
第1回	黒海	2013.1.19-20
第2回	スイス	2014.10.10-11
第3回	バルト三国	2015.10.11-12
第4回	フランス	2016.10.29-30
第5回	バルト海	2017.12.9-10
第6回	第一次世界大戦	2018.11.3-4
第7回	イギリス	2019.10.12-13

*2020年はCOVID-19流行に伴う博物館閉館の為、開催を中止しました。

切手コレクションの観覧順序

切手コレクションは、「展示リーフ」という用紙に整理されて展示されています。この「展示リーフ」は16枚ごとにパネルに収められ、各パネルで右図の順に展示されています。従って、各パネルの展示リーフは、上段から順に、左から右へとご覧ください。

なお、切手コレクションの整理方法には様々なやり方がありますが、この展示方法は、分かりやすさ・コストなどの点で現在最も普及している方法で、欧米だけでなく、アジア、オセアニア、中近東、アフリカの各国で広く同様の方法が採用されています。



クラウド展示とは？

これまでの切手展では、展覧会へ来場しないと、作品オーナーによる個人的出版やSNS掲載を除けば、展示作品を鑑賞する機会はありませんでした。

郵博特別切手コレクション展では、このような機会逸失を少しでも減らすため、インターネットでの作品鑑賞を可能にする「クラウド展示」サービスの、展示団体への提供を2021年4月より開始しました。

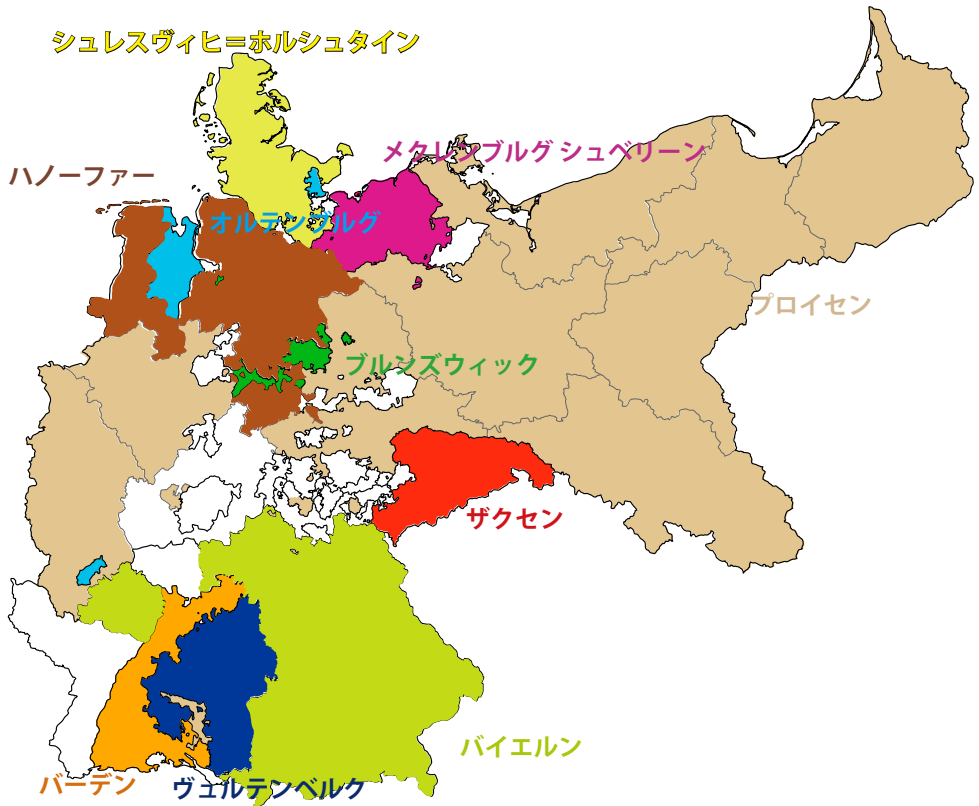
「第8回ヨーロッパ切手展」は、本サービスをフル採用した展覧会です。郵政博物館のホームページからリンクを押すか、もしくは右のQRコードを読み込むと、クラウド展示をご覧いただくことができます。



ドイツ帝国成立前の諸侯の切手 (26)

吉田 敬

イギリスが切手を発明した1840年に、ドイツやイタリアはまだ統一されておらず、小さな諸侯等がそれぞれの領地を収めていました。



近代郵便制度の重要要素である郵便切手（郵便料金を前納する証紙）は、欧州各国に普及していき、ドイツの地にも1849年11月1日に到達しますが、後にドイツの一番切手とされる切手は、バイエルン王国が同日発行した3種類の数字図案切手でした。



これ以降 1871 年にドイツが統一されるまでの間に、合計 500 種類の切手が各国から発行されました。本展覧会では、これらの切手を発行した国別にまとめた 13 のコレクションを展示します。

国名	F	リーフ	郵博	備考
バイエルン王国	3	33		
ザクセン王国	1	16		
プロイセン王国	8	128		世界展大金賞
シュレスヴィヒ=ホルシュタイン公国	1	14		
ハノーファー王国	1	13		
バーデン大公国	1	16	○	
ヴュルテンベルク王国	1	14		
オルデンブルグ大公国・ブルンズウィック公国	1	16		
ハンザ自由都市・ハンブルグ(含ベルゲドルフ)	1	12		
ハンザ自由都市・ブレーメン+リュベック	1	13		
小さい牛(メクレンブルグシュベリン大公国)	1	16	○	国内展金賞相当
英領ヘリゴランド	1	16	○	
タクシス郵便	5	80	○	国内展金賞

スペースの都合上、郵政博物館での展示は、表の「郵博」に○のついた 4 作品（8 フレーム）のみですが、残りの 9 作品（18 フレーム）も含めた全作品をクラウド展示します。

なお、クラウド展示作品の一つである「プロイセン王国（8 フレーム）」は、本年 8 月に開催された国際切手展「PHILANIPPON 2021」にて大金賞・インターナショナルグランプリを獲得した作品です。

全リーフをご覧いただけるように展示するほか、日本語解説付き単行本が 10 月 1 日に発行されます。（表紙右図、A4 判カラー 128 ページ、777 円、出版元：無料世界切手カタログ・スタンペディア株式会社、Amazon 等でお求めください）



ドイツ占領下のチャンネル諸島で、英王室側により発行された切手 (1)

吉田 敬

「ジャージー牛」の名の由来となるジャージー島を含むチャンネル諸島は、英国王室領ですが、仏ノルマンディー半島沖に位置します。

同地の郵便業務は英国により執り行われていましたが、地理的条件により第二次世界大戦中に同地がドイツ軍に占領されると、郵便業務も独自に行われることになりました。

当初は残存郵便切手を半分に切り使用したりしていましたが(下図)が、その在庫も底をついた1941年には独自切手が発行されました。間に合わせの用紙や機材で製造されたローカル切手は収集対象として、たいへん魅力的です。

今回は2013年にワンフレームで構成したコレクションを展示しますが、その後入手したマテリアルも増えたほか、この間に製造面の研究も進めることができましたので、将来的にはより充実したコレクションに発展させていきたいと考えています。



Germany Definitives 1941-42 (2)

木戸 裕介

戦前の第三帝国時代の普通切手について、2フレームでまとめたコレクションものです。

製造面はなるべくエラーなどを取り入れるように努力しましたが、奥行きが足りずまだまだ5フレーム展開は難しいです。

主にカバーは大量にある分野ですので、入手にさほど苦労しませんが、未使用を使つての製造面研究に難儀します。

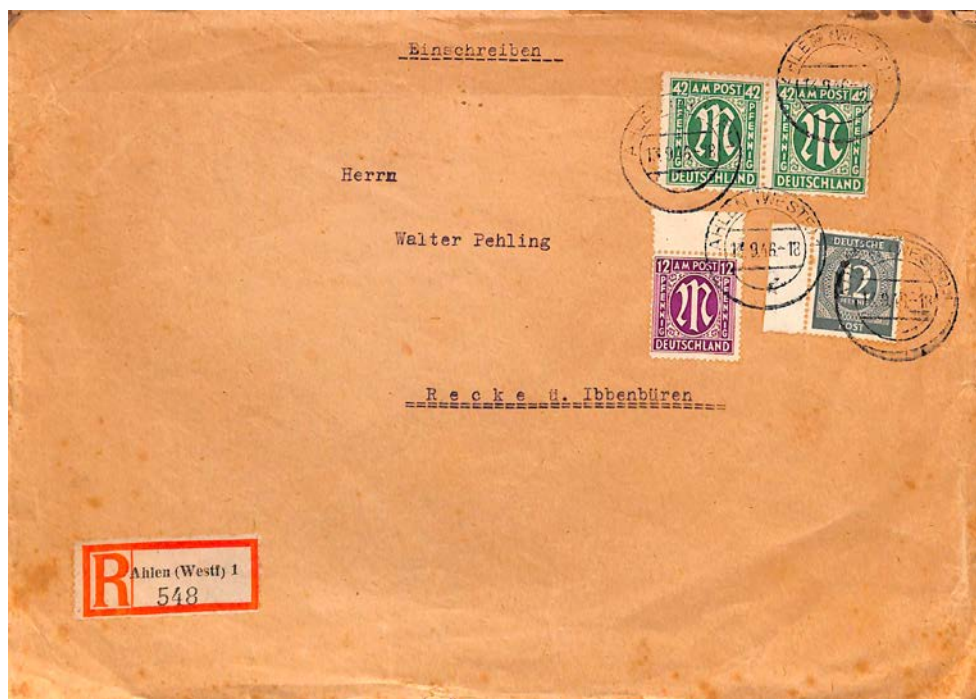
1941年に19額面が一気に発行され、翌年1942年に高額4額面が発行されました。

Germany under Allied Occupation Bizone (2)

木戸 裕介

戦後のドイツにおいては、米英ソ仏が各担当地域を分割占領していましたが、まずは米英占領地で共通して使用できる切手が発行されました。大きくMの字があしらわれている、共通図案の切手です。米国印刷、英国印刷、ドイツ印刷の3箇所で印刷され、版欠点、目打で分類します。基本的なそれらの分類と、シェードのバラエティを中心に手持ちのストックをまとめました。

画像は後の米英ソ地域発行数字切手とのコンビネーションカバーです。30m以降の高額切手はひとまわり大きいサイズが採用されました。



Germany under Allied Occupation Soviet Zone (3)

木戸 裕介

1945年の分割占領初期にソビエトゾーンで発行された切手をまとめました。ソビエトゾーン内国でも、各地域でローカルに切手を発行したため、膨大なメインナンバーと、切手製造の過程から生じたバラエティがたくさんあり、魅力が付きない対象です。各切手のメインナンバーと、それに加えて若干のバラエティを加味した、少し進んだゼネラルコレクションに仕上げてあります。

画像はペラペラのシガレットペーパーに印刷された用紙バラエティフルシートです。



Germany under Allied Occupation United States, British and Soviet zone (3)

木戸 裕介

ソビエトゾーンと米英ゾーンでそれぞれの切手が発行されたのち、フレンチゾーンを除く3地域で、共通して使用可能な数字図案切手と労働者図案シリーズの切手が、1946年より発行が始まります。この2シリーズについて、単片のシェードバラエティ、使用面はなるべく多数貼にこだわって集めてきた収集を展示いたします。

画像は数字図案 25pf の 22 枚貼カバーです。画一的な図案の数字切手は多数貼の迫力が美しいです。



Notopfer Berlin 1948-1956 (1)

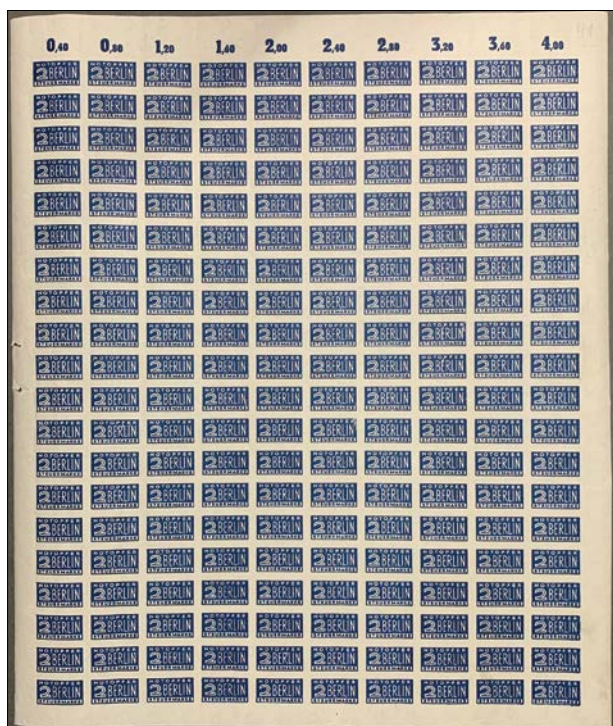
虎頭 雄彦

小学生のころ、祖父にもらった外国切手の中でも「つまらない切手だなあ」と子どもゴコロに思っていたのが今回ご紹介する Notopfer です。恐竜切手をトピカル的に集めていた小学生に、文字デザインだけの単色切手に興味を持ってという方が無理な話です。しかし、長じた自分がよもやそれを集めて展示することになるとは夢思いませんでした。

さて、この前島1円の半分の大きさしかない Notopfer は、実は切手ではなく税印紙で、膨大なバラエティを持つ曲者です。時は第二次大戦後、米英仏ソに分割占領されたベルリンは、周囲をソ連占領下ドイツに囲まれた飛び地でしたが、1948年にソ連がベルリンを封鎖すると、西側はベルリン空輸で対抗。その費用負担とベルリン救済を目的として、西側のドイツ議会はドイツ発の各種郵便物に2フェニヒを税徴収する法案を可決しました。このための専用税印紙が Notopfer なのです。

使用期間は1948年12月1日から1956年3月31日までで100億枚以上が印刷され、カタログでは8つのメインナンバーが与えられています。適用地域は当初、ドイツの Bizone（米英占領区）のみでしたが、その後仏占領区でも使用されました。

本展示では、上記8つのメインナンバー、報告されている代表的な版欠点、初日および最終日使用例、オーストリア国境使用例、使用期間の短い仏占領区使用例等を示し、Notopfer の概要を1フレームで示します。



STAMPEX JAPAN 2022

NATIONAL PHILATELIC EXHIBITION
AT THE POSTAL MUSEUM JAPAN TOKYO SKYTREE TOWN SORAMACHI



展覧会の概要

名称：スタンペックスジャパン2022

会期：2022年3月26日(土)-28日(月) [3日間]

会場：郵政博物館 企画展示室（東京都墨田区・東京スカイツリータウン内）

規模：90 フレーム

主催：(特非) 郵趣振興協会 / (公財) 通信文化協会（郵政博物館）

協賛：スタンペディアプロジェクト

後援：カルトールセキュリティプリンティング社、切手市場、

(一社) 全日本郵趣連合、(公財) 日本郵趣協会

開催日時

3月26日(土) 10:30-16:30

3月27日(日) 10:30-16:30

3月28日(月) 10:30-16:30

*最終入場時刻：閉場時刻の30分前

出品申込受付中：2021年12月21日締め切り